



StorNext and Scalar Series

## ニュージーランドの大手ポストプロダクション、StorNextで1日最大20TBの処理を実現

Park Road Post Productionは、ニュージーランド、ウェリントンにある大手ポストプロダクション施設です。映画製作者により映画製作者のために設計され、ビジョンを実現するためのゆったりしながらも刺激を与える環境を提供しています。

同施設は柔軟性を誇り、莫大な予算を投じるハリウッド映画、独立系の米国映画や外国映画、低予算のニュージーランドの上映作品やショート・フィルムを手掛けています。StorNext®採用以降、Park Roadは今日の要求の厳しいデジタル・ワークフローや関連コンテンツの増大に対応しています。

「[StorNext] ソフトウェアの持つインテリジェンスでワークフローを自動化することにより、人員を増やしたり、ITソリューションを設計し直すことなく、Park Roadは簡単にスケールアップできました。」

Tim Benson氏

Factorial社、ディレクター兼テクノロジー・エバンジェリスト

### スケールアップとハイパフォーマンスの必要性

Park Roadが直面した問題は、デジタル映画製作者が現在作成するデータの急速な増加に合わせて、システムをスケールアップすることでした。デジタルで取得した3Dフィルムの製作が一般的になるにつれ、デジタル・フィルムを解凍すると、プロジェクト当たり数百TBものデータになることがあり、コンテンツの管理にこれまで使用されていたツールでは、データの取得、コラボレーション、配給、長期的な保護アーカイブの新たな要求に対処できない場面が多くなりました。映画製作では迅速なターンアラウンドが主要な要因であるため、ポストプロダクションにおいて映画製作者の創造力を高める時間を最大限に延ばすことができるPark Roadは、他の施設と競争する上で大きな優位性を保持しています。事実、Park Roadが使用しているいくつかの技術では、最先端のデジタル・ポストプロダクションが映画製作プロセスのシームレスな一部

になっています。ハイエンドの長編映画製作はコストが高く、迅速なターンアラウンドを必要とするため、セットが解体される前に映画製作者が必要に応じて撮り直しできるように、素材の処理と品質のチェックをできる限り迅速に行う必要があります。

「私達はある特定のプロジェクトでこれまでにない問題に直面しました。そこで、潜在需要を満たすためにスループットおよびキャパシティを大幅に改善する必要があることを悟ったのです」とPark Roadの技術部門の責任者であるPhil Oatley氏は言います。「1日の撮影で平均して6~12TBの新しい素材を処理していました。実際、忙しい日では、20TBにも及ぶことさえありました。12時間以内にすべての新しい素材を処理し、クライアントに配信しなければなりません」。

一言で言えば、Park Roadは「データの中で溺れる」恐れに直面していました。データの合計量がまたたく間に増大するだけでなく、必要とされる毎日のスループットも大幅に増えそうでした。同施設はAtempo Time Navigatorと直接接続されたテープ・ライブラリーを中心に作成された伝統的なアーカイブ・システムを使用していましたが、増え続けるデータを処理するためにスピード、効率性、スケーラビリティが向上したソリューションが必要でした。

より効率的で効果的な方法がないか調べるためのプロジェクトが開始されました。Park Roadは長い間画像コンテンツをリアルタイムで処理するための高性能SANインフラストラクチャーを使用してきましたが、仮想テープ・ストレージを使用することでこのインフラストラクチャーをさらに拡張することが最善策であると決定しました。ただし、ハードウェアはソリューションのごく一部分であり、それ以上と言わないまでもハードウェアと同じ位、ソフトウェアも重要でした。

## PARK ROAD

POST PRODUCTION

「ソフトウェアをPark Roadに合わせる事が重要であり、その逆であってはなりません。StorNextはこうした要求も実現し、我々の期待を超えてくれました」

Phil Oatley氏

Park Road、技術部門の責任者

### ソリューション概要

- 3つの StorNext File System クライアント、40の StorNext FX クライアント、25の Apple Xsan クライアント
- 7つの SAN ボリュームに分割された 700TB のオンライン・ディスク
- StorNext Storage Manager - 2PB ライセンス
- Scalar i6000 - 1600 スロット、合計 2.4PB
- ボールディング・ライセンス

### 主な利点

- Apple、Windows、Linux クライアントで高性能のクロスプラットフォームの共有ストレージが可能
- ポストプロダクションの共同作業およびプロジェクトの迅速な完了をサポートするために、非常にスケーラブルなキャパシティと帯域幅を提供
- 短期間のアーカイブおよび長期間のデータ保護を実現するためにコピーを自動作成
- ソフトウェアおよびテープのベンダーの統一化により、サービス/サポートの簡素化
- インテリジェントな iLayer™ソフトウェアにより、プロアクティブな遠隔診断および関係診断を提供
- オープン・アーキテクチャーの採用により、社内システムとの緊密な連携が可能
- ボールディング・ライセンスの利用により、必要に応じてテープ・ストレージを無制限にスケールアップ可能

## 既存のワークフローに適合するソリューションの選択

Park Roadでは、Apple以外のSANクライアントに対してすでにQuantum StorNext FXを4年間使用していました（Apple Xsanとの相互運用性により）。従来のアーカイブ・ソリューション・ソフトウェアではQuantum Scalar® 50テープ・ライブラリーと旧世代のテープ・ドライブを使用していました。このシステムはスケーラビリティが制限されていましたが、Quantumテクノロジーの有効性は実証されていました。

Park Roadのテクノロジー・パートナーであるFactorial社の勧めで、同施設はフルスケールのStorNextソフトウェアと最新のQuantumテープ・ドライブを装備したScalar i6000エンタープライズ・テープ・ライブラリーから構成される、より大きなQuantumソリューションを決定しました。

「StorNext File Systemは高性能のファイル・アクセスを実現し、Linux、Mac、Windowsなどの異種環境をサポートしています。これらのオペレーティング・システムはすべてPark Roadで使用しているものです」とFactorial社のディレクター兼テクノロジー・エバンジェリストであるTim Benson氏は言います。「ソフトウェアの持つインテリジェンスでワークフローを自動化することにより、人員を増やしたり、ITソリューションを設計し直すことなく、Park Roadは簡単にスケールアップを実現できました。StorNext Storage Managerにより、ほぼ無制限のキャパシティを提供しながら、データセンターの占有面積、消費電力、冷却費、最終的には運用コストまで削減するディスクのようなテープをPark Roadは使用することができます」。

Park Roadは、SANの拡張時にアップグレードに取り組むことを選択しました。StorNextのフルライセンスにより、StorNext Storage Managerを配備して、高性能ディスクと大容量テープ・ライブラリー・アーカイブ間で自動的にデータを移動させることができました。

また、Scalar i6000により、短期的な再評価や処理と長期的なアーカイブのために保持しておくことができるデータの量が大幅に増えました。さらに、必要に応じて新しいスロットを増やすことで簡単にスケールアップでき、LTO-5テープ・ドライブのサポートにより、ストレージ効率をさらに向上できました。最後に、Scalarシステムにより、テープ・メディアの整合性をプロアクティブに検証し、StorNextとの連携により、劣化の兆しが現れた場合、新しいメディアにファイルを自動的に移行するオプションのソフトウェアが提供されました。

「Storage Managerがオープン・ファイルベースの構造であるため、テープ間での保存および取り出しの自動化が非常に簡単で、バックアップやリストアの複雑なプロセスの必要性が解消されました」とBenson氏は言います。「Park Roadとワークフロー・ツールを作成する場合、TB級のデータの力作業はStorNextに任せて、私達はクリエイティブなプロセスの改善に集中することができます」。

## パフォーマンスの大幅な向上

統合が完了すると、パフォーマンスは大幅に向上しました。セット上でまたは現場のLTO-5テープから、ソース・データ（実際には、オリジナルのカメラのネガ）がStorNext SANに迅速に取り込まれ、複数のSGO Mistikaワークステーションで共同処理が可能になりました。これらは8Gb/s Fibre Channelを介して同時にソース・マテリアルにアクセスするため、最高のパフォーマンスを実現できます。ソース・データおよびセット上で生成されたり、処理によって得られたすべてのメタデータはStorNext Storage Managerを介してLTO-5テープにアーカイブされます。テープはScalar i6000内に保持されるため、SANに迅速に戻して、処理することができます。また、長期的なアーカイブのため、ライブラリーからテープに保存されます。

Park Roadのシステムは日常的にほんの数時間で数TBのデータを処理し、最大ピーク時で1日当たり20TB以上の処理が可能です。

「新しいソリューションを選択するときにも最も重要な要因の1つは、Park Roadで映画製作者が使用している既存のクリエイティブ・ワークフローを犠牲にすることなく、逆に向上させるようにすることでした」とOatley氏は言います。「ソフトウェアをPark Roadに合わせることで重要であり、その逆であってはなりません。StorNextはこうした要求も実現し、我々の期待を超えてくれました」。

Park Roadのストレージ・インフラストラクチャーは絶えず成長し、フィルムのポストプロダクションのニーズの変化に適応しています。Park Roadのような施設は常に将来を見据えています。

「私達はより緊密な連携を実現し、開発上のメリットを手に入れるために、最終的にクアンタム社のStorNextメタデータ・アプライアンスに移行するつもりです」とOatley氏は言います。

「StorNext Storage Managerにより、ほぼ無制限のキャパシティを提供しながら、データセンターの占有面積、消費電力、冷却費、最終的には運用コストまで削減するディスクのようなテープをPark Roadは使用することができます。」

## Tim Benson氏

Factorial社、ディレクター兼テクノロジー・エバンジェリスト

## PARK ROAD POST PRODUCTION について

ニュージーランド、ウェリントンの大手ポストプロダクション施設。Park Roadは映画製作者により映画製作者のために設計され、ビジョンを実現するためのゆったりしながらも刺激を与える環境を提供します。Park Roadは画像と音響を扱う部署の隣にフィルム・ラボラトリーがあるワンストップ・ショップとして設立されました。Park Roadは他と異なり、デジタルおよびフィルムのラッシュ、立体表示のための位置合わせ、デジタル・インターメディアイト、フォーリーおよび音響編集からフィルムやデジタルのすべての成果物を最終的に完成させ配信できる状態にするまで、1つの作品に対してすべてのポスト・サービスを提供します。詳細については、<http://www.parkroad.co.nz/>を参照してください。

当製品の販売に関するお問い合わせは右の取扱店までお願いします。

<http://www.quantum.com/jp/>

**Quantum**  
BE CERTAIN

日本クアンタムストレージ株式会社

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-25-15 TEL. 03-5978-0070

Quantum、Quantumロゴ、DXi、DXi Accent、およびScalarはクアンタム社の登録商標です。その他すべての名称またはロゴは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本カタログに記載の仕様については予告なく変更することがあります。©2013 Quantum Corporation. All rights reserved.

取扱店